

モルドバ人児童・生徒への日本文化紹介事業（2017年度通年報告）

モルドバでは、アニメ、寿司、自動車等を通じて日本への関心は高く、親日感情は良好ですが、日本語教育機関（私立）は1校のみであり、また、在留邦人は20数名であることから、日本人から直接日本文化について見聞きする機会は極めて限られています。このような状況を受け、モルドバ在住の川村理事が児童・生徒に対して日本文化や日本語につき紹介しました。詳細は以下のとおりです。

1. (2017年)4月8日及び5月13日：モルドバ日本文化文明協会（現地文化団体）の折り紙教室に通うキシナウ市の子ども4～6名に対して、日本の食文化、物の名前や鳴き声、日本の童謡につき紹介しました。お弁当や和食について紹介すると、そのきれいに並べられた盛り付けに感心した様子でした。また、味付き海苔は大好評でした。動物の名前や鳴き声については、かるた形式でゲームをして覚えました。子どもたちはかるた大会に大興奮でした。また、父兄からは、「モルドバでは、言葉を覚えるのにかるた形式を使うことはない。とてもよい教授方法だ。」との感想が述べられました。

2. (2017年)5月4日及び(2018年)3月31日：カザネシュティ村「子どもデイケアセンター」の子ども21名に対して、動物の名前や鳴き声、日本の食文化、俳句につき紹介しました。上記1.と同様に、動物の名前や鳴き声について、かるた形式でゲームすると子どもたちは大興奮でした。日本の食文化（握り寿司の仕込み）と俳句（2句）について映像を交えながら紹介しました。そして、その俳句（「静けさや岩に染み入る蟬の声」と「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」）をみんなで繰り返し詠んで覚えました。

3. (2018年)3月25日：キシナウ市「KEDEM ユダヤ文化センター」で開催された「国際言語イベント」にて、中高校生から大人13名に対して、日本の特徴や日本語の仕組みにつき紹介しました。本イベントは10か国ほどのブースに分かれてネイティブによりその国の言語や文化につき紹介が行われるものです。日本ブースに集まった13名の参加者は、日本について全く知らない方々もおられ、日本とモルドバが8500キロ離れていることを紹介するだけでも驚きの声が上がっていました。また日本語の文字の複雑さ・多さにも感嘆の声が上がっていました。川村によるプレゼンの後、現地のモルドバ日本文化文明協会（文化団体）メンバーにより風呂敷の使い方につきデモンストレーションが行われました。イベント終了後、日本文化が大好きで独学で日本語を勉強している生徒等が、日本語で一生懸命日本について多くの質問を投げかけてくれました。

4. (2018年)3月27日：キシナウ市「ヴァシレ・アレキサンドリ高校」の高校生約42名に対して日本の特徴や日本語の仕組みにつき紹介しました。生徒たちは終始目をキラキラさせながらスライドや映像を見ていました。日本の美しい景色や技術、食事の紹介の後、日本の文字の多さに驚いた様子で、小学校で約1000文字の漢字を学び、日常生活を送るには3000文字の漢字を知っている必要がある旨説明すると、会場はざわついていました。プレゼンの後も教育制度など日本に関するたくさんの質問が寄せられました。

本校は駐日モルドバ大使館・ダニエル・ヴォーダ書記官の出身校です。本機会のきっかけをくださった同書記官に感謝申し上げます。

【川村理事感想】

今回、児童・生徒を対象に様々な場所で日本文化・日本語につき紹介をしましたが、年齢に関係なく、皆一様に真剣に目を輝かせながら発表に聴き入ってくれました。純粋に日本に興味を持ってくれている若者たちと交流し、私の愛する日本について紹介できることは、私にとって大きな喜びです。小さな活動ではありますが、モルドバに日本ファンを増やして、日本とモルドバの「距離」がまた一歩近くなるようなお手伝い（活動）をこれからも続けていくことができたら幸せです。

【キシナウ市の子ども6名に対するプレゼン】

((2017年)4月8日及び5月13日、於：モルドバ日本文化文明協会事務所)



日本の食文化につき紹介しました





←モルドバ日本文化文明協会にて折り紙を教えるマリアさん

↓折り紙教室の様子



動物の名前・鳴き声を
教えました→

↓動物の名前・鳴き声
のかるた取り





5月8日は女性の日（日本でいう母の日）であったことにちなんで、「おかあさん」の童謡を紹介しました



最後はきちんと、「起立」、「気を付け」、「礼」をしました



【カザネシュティ村の子ども 21 名に対するプレゼン】

((2017 年) 5 月 4 日及び ((2018 年) 3 月 3 1 日、於：カザネシュティ村「子どもデイケアセンター」)



←日本語での動物の名前と鳴き声について教えました

動物の名前・鳴き声のかた取り→



笑顔で、「ハイチーズ！」



←握り寿司の仕込み、俳句（2句）について映像を交えながら教えました



俳句をみんなで繰り返しました



←子どもデイケアセンターの担任の先生と



デイケアセンターのコーディネーター（ブラドゥツァーヌ女史（モルドバ日本文化文明協会理事長））と川村理事に子どもたちから感謝のお手紙をいただきました



みんなでピース！

【キシナウ市の中高校生から大人13名に対するプレゼン】

((2018年) 3月25日、於：キシナウ市「KEDEM ユダヤ文化センター」)



←KEDEM ユダヤ文化センター



各ブース講師の紹介→



日本ブースで日本の特徴や日本語
につき紹介しました





↑モルドバ日本文化文明協会メンバー（マリアさん）による風呂敷の使い方についてのデモンストレーション



↑一緒に写真を撮りをお願いされた参加者と

【キシナウ市の高校生約42名に対するプレゼン】

（（2018年）3月27日、於：キシナウ市「ヴァシレ・アレキサンドリ高校」）



←日本の映像に見入る生徒たち



みんなで集合写真



一緒に写真をお願いされた参加者と

(以上)